

平成27年度事業報告

1 児童虐待防止シンポジウム開催事業

本年度は、児童福祉法等の改正が予定されていたため、シンポジウムを2回開催した。これにより、児童虐待防止にかかわる現場の状況を共有し、課題克服に必要な改正、改正法を実施するために必要な制度や財源のあり方を明らかにし、立法、行政、自治体、関係団体における検討の機会とした。

◆ 第22回シンポジウム

- テーマ : これからの児童虐待防止法制度を考える～現場からの検証～
- 日時・会場 : 平成27年4月19日 TKP市ヶ谷カンファレンスセンター
- 参加者 : 約130名
- 内容 : 基調講演・シンポジウム



◆ 第23回シンポジウム

- テーマ : これからの児童虐待防止対策を考える～現場からの検証～Part2
- 日時・会場 : 平成27年10月3日 TKP渋谷カンファレンスセンター
- 参加者 : 約80名
- 内容 : 基調講演・シンポジウム

2 児童虐待防止啓発活動事業

子ども虐待防止に対する意識の向上と虐待の予防、早期発見・対応の充実を図るために、オレンジリボンフォーラムの開催、オレンジリボンの配布活動、支援団体とのイベントの共催、ポスターコンテスト、鎮魂集会の実施、ホームページの活用等、オレンジリボン運動の普及啓発活動を幅広く行った。

◆ 第3回 オレンジリボンフォーラム

育児漫画家の楽しい子育て講演、えほんうた・あそびうたライブ、オレンジリボン運動についての報告などを行った。また、支援団体・企業のブースを設け、一般の子育て中の親子に仲間づくりや息抜きの場を提供し、子ども虐待防止に向けた取り組みや子育てについて学ぶ機会とした。

- テーマ : 親と子を楽しもう！
- 日時・会場 : 平成27年6月6日(土) 文京区シビックセンター／小ホール
- 参加者 : 約450名
- 内容 : 講演、ライブ、ポスターコンテスト表彰式、文京区の活動報告、支援企業・団体によるブース設置、オレンジリボン運動について



◆ ポスターコンテスト事業

一般市民への啓発のため、全国から子ども虐待防止のデザインを募集し、オレンジリボン運動のポスターを作成した。また、参加団体・企業と共にオレンジリボン運動ポスター約10,000枚を掲出した。

- 実施時期 : 募集…1月～3月、選考4月、表彰…6月(オレンジリボンフォーラムにて)
- 内容 : 最優秀賞10万円を1名、優秀賞3万円を2名、特別賞、企業賞のほか今年度よりユース賞を設定し、美術系の専門学校・大学・高校等を中心に広く応募を呼び掛けた。応募総数305作品の中から審査員が選考し、1次審査通過者には記念としてオレンジリボンストラップを贈呈した。6/6に開催されたオレンジリボンフォーラムで受賞者の表彰を行った。
- 選考したデザインを活かしてポスターを作成し、関係機関等に配布・活用を通じて虐待防止の啓発につなげた。



<最優秀賞>



<優秀賞>



<優秀賞>



<ユース賞>

◆ イベント等共催事業

支援団体と協力して児童虐待防止の啓発を行った。平成27年度は全国6団体の協力を得て啓発活動を行った。

- 実施時期：平成27年度中
- 内容：各地の支援団体とイベント等を共催し、企画・広報等の支援をするとともに開催経費を一部負担した。

支援団体名	啓発内容
CFRびわこ	びわ湖一周オレンジリボンたすきリレー
ながの子どもを虐待から守る会	「児童虐待防止の輪を地域に広げよう」
全国福祉未来ネットワーク	第3回子ども虐待を考えよう！未来を担う若者会議
NPO法人和歌山子どもの虐待防止協会	子ども虐待防止啓発パレード
NPO法人子育てパレット	オレンジリボンフォーラムinあだち
特定非営利活動法人児童虐待防止協会	創って作って築るオレンジリボンキャンペーン

オレンジリボン運動の啓発ツールとして、布リボン、チラシ、ポスター、啓発冊子を作成、配布した。

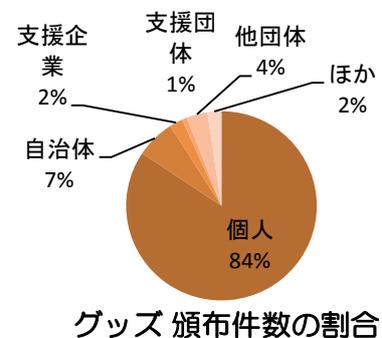
◆ グッズ作成・配布

児童相談所共通ダイヤル「189」導入に伴い、啓発用にうちわ、メモ帳、クリアファイル等のグッズを作成し、啓発した。また、11月の児童虐待防止推進月間に向け、新しい啓発グッズのアイテムを追加（ボールペン、ハンカチタオル、一筆箋等）し、啓発キャンペーンを行った。今年度も啓発ツールとして、チラシ、ポスター、布リボン、啓発冊子、マスク等を作成・配布し、子ども虐待防止の啓発を行った。



＜主なグッズ頒布数推移＞

グッズ	26年度	27年度
オレンジリボンバッジ	14,714	17,445
名刺用(啓発シール)	1,203	455
マグネット	634	406
ストラップ	657	548
クリアファイル	4,200	3,589
Tシャツ	311	502
ボールペン	-	1,191



◆ 春のオレンジリボンキャンペーン

児童福祉週間(5月)を中心にオレンジリボンを付けようと呼びかけた。個人サポーター(約10,000人)へオレンジリボンポスター掲出の願いをし、ポスター600枚と布リボン6100個を提供した。全国的にオレンジリボンの着用を呼びかけ、11月の虐待防止月間のみならず市民の参加意識を高められるよう児童虐待防止の啓発をした。

- 実施時期：平成27年4月中旬～5月末日
- 内容：個人サポーターを中心に、オレンジリボン着用、ポスター掲出の呼びかけ等、広報啓発活動を実施した。

◆ 全国一斉オレンジリボン街頭配布

児童虐待防止月間の主催イベントとして、全国各地で支援企業/団体の協力によるツールの配布等、オレンジリボン運動の啓発活動を行った。

- 実施時期：平成27年11月3日(木・祝)を中心にその前後で実施。
- 内容：駅前等の公共の場所やイベント会場等、人の集まる場所を中心にマスク20万枚、布リボン7千個、チラシ6.3万枚を配布するとともに、のぼり旗やポスター500枚の掲示、声かけなどで児童虐待防止について啓発・呼び掛けを行った。
- 一斉配布協力企業・団体数：90企業・団体



児童虐待防止全国ネットワークとして

- 実施日：平成27年11月3日(木・祝)
- 実施場所：東京都豊島区 池袋サンシャイン通り
- 内容：豊島区の協力の下、ボランティアと一緒にオレンジリボンTシャツを着用し、マスク15,000枚を配布、のぼり等を立て休日の大勢の人が行きかう中、オレンジリボンの啓発を行った。

◆ 鎮魂集会事業

児童虐待によって失われた子どもの命を悼み、児童虐待防止を啓発することを目的に鎮魂集会および鎮魂の行進を行った。

- 日時・会場：平成27年11月15日(日) ニッショーホール
- 参加者：約400名
- 内容：第13回子どもの虐待死を悼み 命を讃える市民集会 ～一人ひとりの気付きが親と子どもの未来を守る～
 第1部：虐待死した子どもの名前が読み上げられ、参加者全員で黙祷を捧げた。
 第2部：講演「SOSはなぜ、とどかなかったのか～二つのネグレクト事件を取材して・杉山 春 氏
 第3部：子ども虐待防止を訴える「鎮魂の行進」ニッショーホールをスタートして、銀座界隈を通り、京橋
 ブラザ区民館までを子ども虐待のない社会づくりをアピールし、行進した。



◆ 子ども虐待防止のための講演、研修および取材

<新聞、TV、雑誌の取材>

日付	媒体	タイトル	内容
7月1日	朝日新聞	「虐待の通報・相談ダイヤルきょうから」	吉田理事長コメント掲載
11月4日	THE SHAKAI SHIMPO	「これからの児童虐待防止対策」	シンポジウムについて記事掲載
11月16日	しんぶん赤旗	児童虐待防止へ集会・行進	鎮魂集会について記事掲載
12月3日	東京新聞	「児童虐待 届かぬ通報」	高祖理事コメント掲載
1月22日	読売中高生新聞	「増える虐待 心に傷」	児童虐待について掲載
12月1日	TV朝日「ワイルドスクランブル」	「生後16日の乳児をゴミ箱に…両親逮捕」	高祖理事生出演
2015年12月号	東遊商「Toyusho」	オレンジリボン運動への取組み	シンポジウムについて取り上げ、掲載
複数号にて	東遊商「Toyusho」	オレンジリボン運動	当団体公式ポスターを紙面に掲載等
1月26日	産経新聞	「ロープ・熱湯…『凄惨』虐待 警察・市サイン見逃し『連携の谷間』	吉田理事長コメント掲載
2月11日	産経新聞	「羽月ちゃん事件 逮捕から1か月 吉田理事長に聞く	吉田理事長取材協力
	イー・ウーマン	イー・ウーマン・オブ・ザ・イヤー2015	高祖理事「議長部門」受賞

<講演会・研修会等への講師派遣>

日付	内容
11月27日	「児童虐待防止全国ネットワークの取組み」内閣府児童ポルノ排除推進協議会
10月16日	「児童虐待への対応～私たちにできること」所沢市人権教育ブロック研修
1月24日	「たたかないどころなら子育て講座」(杉並区)
3月23日	「公/私の空間・関係性の変容に応える安全な暮らしの創生」(意見陳述) 科学技術振興機構

◆ 井上幸夫さん応援ラン～皇居一周マラソン～

- 日時・会場：平成27年6月28日(日) TKP麴町駅前会議室
- 参加者：約30名
- 内容：子ども虐待防止を訴え、日本一周マラソンをしている井上幸夫さん(元東京都児童相談所職員)の講演会を行い、オレンジリボンのTシャツを着た参加者と一緒に皇居一周をマラソンし、子ども虐待防止を訴えた。



◆ 学生によるオレンジリボン啓発活動

厚生労働省や関係機関の協力の下、保育士養成校など全国にある大学等に呼びかけを行い、「学生によるオレンジリボン運動」のサポートを実施した。59大学に啓発ツール一式をサンプルとして提供した。

3 目的を同じくする団体との連携事業

◆ 日本子ども虐待防止学会(JaSPCAN)との連携

平成27年11月20日～21日に新潟県で開催された学会の定例会時に、資料配布用にオレンジリボン不織布バッグを提供し協力した。

平成27年度 事業報告書
平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

特定非営利活動法人
児童虐待防止全国ネットワーク

1 事業の成果

シンポジウム事業では、喫緊の課題である児童福祉法改正問題を取り上げ、シンポジウムを2回開催した。行政関係者、関係団体、研究者等の参加を得て報告、意見交換を行い、法改正に関する課題を検討した。啓発事業では、子育て支援に基づく「第3回オレンジリボンフォーラム」を文京区との共催により開催した。講演やブース展示等により親子で楽しい時間を過ごすことができるイベントとなった。11月の児童虐待防止月間を中心に全国でオレンジリボンマスクを20万枚配布し、新たな虐待通告電話番号「189」の周知に努めた。鎮魂集会事業では、虐待で命を落とした子どもの名前と亡くなった状況を読み上げ、参加者一同で黙とうを捧げた。あわせてルポライター杉山春氏の講演を行い、虐待された子どもの保護に必要な取組みについて考える機会とした。他団体との連携事業では、日本子ども虐待防止学会や全国の児童虐待防止民間団体と共に、オレンジリボンによる児童虐待防止の活動を行った。これらの活動により、児童虐待防止の啓発活動及びソーシャルアクション等、当法人の目的を実現することができた。

2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従業者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
児童虐待防止シンポジウム事業	これからの児童虐待防止法制度を考える～現場からの検証～ 児童福祉法等の改正が予定されていた中、児童虐待防止に関わる現場の声を共有し、制度のあり方について検討した。	平成27年4月19日	TKP市ヶ谷カンファレンスセンター	約20人	約130人	989
	これからの児童虐待防止法制度を考える～現場からの検証～Part2 児童福祉法等の改正が予定されていた中、児童虐待防止に関わる現場の声を共有し、制度のあり方について検討した。	平成27年10月3日	TKP渋谷カンファレンスセンター	約20人	約80人	516
児童虐待防止啓発事業	オレンジリボンフォーラム 育児漫画家の楽しい子育て講演をはじめ、あそびうた親子ライブ、オレンジリボン運動の報告や支援団体等のブースを設け、一般の子育て中の親子に仲間づくりや息抜きの場を提供し、子ども虐待防止に向けた取組みや子育てについて学ぶ機会とした。	平成27年6月6日	文京区シビックセンター	約40人	約450人	483
	オレンジリボン配布活動 児童虐待防止のシンボルであるオレンジリボンやオレンジリボンバッジ等の啓発グッズ、マスクの配布、さまざまなキャンペーンへの参加等により、児童虐待のない社会の実現を目指す啓発活動を行った。	通年	全国	不特定多数	不特定多数 リボン配布数(約3万8千個) マスク配布数(約20万枚)他	18,666
	オレンジリボンポスターコンテスト 一般への啓発を目的に、全国の美術系専門学校生・大学生・高校生等を対象にオレンジリボンを用いたポスターのデザインを募集し、参加企業とともに啓発活動を行った。また、ユース部門を独立させ、中学生以下を中心に多くの方がコンテストに参加できるよう図った。	平成27年1月～5月	全国(表彰式:シビックセンター)	10人	約450人	2,432
	井上さん応援ラン～皇居一周マラソン～ 子ども虐待防止を訴え、日本一周マラソンをしている井上幸夫さんの講演、参加者とともに皇居一周マラソンを実施した。	平成27年6月28日	TKP麹町駅前会議室	約5人	約30人	122
	虐待で命を落とした子どもの鎮魂集会事業 児童虐待で命を落とした子どもの冥福を祈り、虐待のない社会を目指すための集会及び鎮魂の行進を実施した。	平成27年11月15日	ニッショーホール	約100人	約400人	1,994
目的を同じくする団体との連携事業	オレンジリボン共催事業 当法人の支援団体に11月の虐待防止月間を中心に虐待防止のイベント共催を呼びかけ、全国6団体とともに虐待防止の啓発活動を行った。	平成27年度中	東京・和歌山・長野・大阪・滋賀など	約5人	約30人	1,155
	日本子ども虐待防止学会との連携により、オレンジリボンを通じて児童虐待防止の啓発を行った。	平成27年11月20-21日	新潟県	3人	不特定多数	186